




平成 30 年 12 月 14 日 (報告 Nancy 中山)

もうすぐクリスマス。ぶどうとめろん共、クリスマスにちなんだ英語を習いました。

ぶどう組・めろん組	習った言葉や補足
挨拶や歌	<p>セサミスト리트のエルモが登場。「USJにおった!」「知っちゃう!」等の反応 名前は何? いくつ? 好きな色は何? おなか空いてる? 好きなものは何? エルモは 7 歳、好きな色は赤、おなかは空いていません。好きなものは クリスマス!!! …ということで、ここからクリスマス話題に。 エルモがベル Bell を持ってきてくれて、鳴らしてくれました。 みんなでベルの歌を歌いました。 ♪ The little bells of Christmas said Ding Ding Ding Dong Dong The little bells of Christmas said Ding Dong Ding ♪</p>
クリスマスの英語	リンダさんがぬり絵を見せてみんなに説明してくれました。
Santa Clause	サンタクロース。笑い声は HO HO HO~
Christmas tree	クリスマスツリー。アメリカのツリーはとにかく大きい(家も大きいのですが)。
Angel	<p>天使。羽は Wings 輪が頭の上にあるイメージの天使を想像してか、 めろんの男の子が「ああ!あの、<u>こけたときに回るやつ!</u>」と。→ </p>
Snowman	雪だるま。直訳すると、snow 雪の man 男の人
Stocking	<p>クリスマスのプレゼントを入れる靴下ですが、英語ではストッキングと呼 ぶそうです。 アメリカでは暖炉の上に家族それぞれのストッキングを吊り下げて、クリ スマスプレゼントを待つとか…。日本で暖炉のある家は珍しいですから、 私も子どもの頃憧れたものです。(大草原の小さな家を見て、うらやましく 思っていました) 暖炉の話をリンダさんがしていたら、ぶどうの男の子が 「僕の家、かまどがあるで…」←「うそっ?!」 とにかく、クリスマスが楽しみな子ども達でした。</p>
Elf	<p>エルフ。リンダさんは「サンタさんのヘルパー」と呼んでいましたが、クリ スマスの伝統“Elf on the shelf”←棚の上のエルフという、サンタクロースの 助手(スパイとも書かれています)として用いられています。容姿は緑色の服に 先のすぼんだ帽子をかぶり、とがった耳をしている妖精。子ども達の家にやっ てきてサンタさんからクリスマスプレゼントを貰いたいと願い、良い子で過ご そうとする子ども達の様子を観察して、毎晩サンタさんに報告しているのだそ うです。ある時はキッチンに、ある時はベッドサイドに…毎日違った場所に潜 むエルフ。子ども達は毎朝エルフを探すのが楽しみとなります。日本では今ひ とつ知名度の低いエルフですが、アメリカでは映画に出る程ポプラーです。</p>
アルファベットチャンツ	<p>めろんとぶどうでは内容を変えているリンダさん。 ぶどうは 2 年目なのでスピードも速く、すらすらと歌えますが、めろんはまだ そこまでではなく、ゆっくりと発音しています。 またアルファベットを指して(たとえば A を指したら、エイと読み、アッと発 音するという)ルールも、ぶどうは分かっていますが、めろんでは、一生懸命 自分の名札から同じアルファベットを探そうとしています。 今日めろんは A~D のおさらいをしました。 ぶどう組は U の文字を。発音のポイントは口の力をすっきりぬいて、かるく 「ア」という感じで“u”。umbrella 傘、uncle おじさん、umpire アンパイ ア。U なので、思わずユーと発音したくなりますが、そこは違います。 アンパイアに反応して、バンパイアやアンパンマンになっていました。</p>

来週が今年最後の英語であそぼう。リンダさんからぬり絵のクリスマスプレゼントがあります!